

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	セカンドプレイス (株) RISE		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 18日		R6年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	R6年 11月 18日		R6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	細やかな成長を見逃さずに、毎日の支援の中で成長を促す展開を行っている点。	支援者全員で毎日の支援の振り返りを行っている。また、振り返りが後々も有効に活かせるように記録している。	個々の専門性を高める。専門性を支援に活かす。
2	就学前の子どもであっても個人を尊重して、自己選択・自己決定を促せる展開を行っている点。	個々に必要な時間や環境を整える。また、そのために必要な支援者の配置と関わり方を、常に考えている。	子どもの個性・特性の理解を深める為に、自己研鑽に努め研修等に積極的に参加する。
3	子ども達からの自発的な「やりたい!」気持ちを引き出し「できた!」に繋げる展開。	子どもの様子をよく観察して、何が得意で、何が苦手かを知る事。その上でスモールステップを重ね、出来た事を大いに称賛する事。	遊びの種類・展開の手段を増やす。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様が安心・満足される関わり・取り組みが、今一步踏み込めていないこと。	支援時間と保護者様・家族の生活時間が同等な為、時間調整が困難なことが多い。	時間帯に左右されない関わり方。発信が苦手な場合であっても、発信しやすい方法。
2	地域・幼稚園・保育園との連携。	それぞれが求めている事を理解しあえていないのではないか。	幼稚園や保育園に向けて、期待することや希望のアンケート調査を行う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 セカンドプレイス(株) RISE

公表日 2025/2/28

利用児童数 R7年 2月 30世帯

回収数 28

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28				実際に見学できていないので把握できていません。	多くの視点から見ていただけるように、足をお運びいただける機会を設けていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	3				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	2				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	2				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	2				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26			2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1			子ども達に活動を決めてもらうため一時期同じような活動が多く感じたことがある。	同じ様な支援内容から、子どもたちの理解度や成長を評価する事も多いことを、保護者様にもしっかりとお伝えしていきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15			13		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	5		3	送迎や面談の時に大変丁寧な対応をしてもらい感謝しております。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	3			連絡帳に対しての答えがもらえないことがある。	支援時間の様子に限らず、保護者のニーズ把握に努め、求められていることに対応していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28				面談があり、相談事については適切なアドバイスをもらい助かる。先生方に親身になって聞いてもらえて嬉しいです。家庭と集団での見せる面も違う為、モニタリングで話をし、子どもの現状をすり合わせている。	継続して行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28				子育ての体験を踏まえて話をしてくださり分かりやすい。出来る事を伸ばそうとしてくださっている。	継続して行っています。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	5		3	父母の会の活動はあるが参加したことはない。色々なイベントを開いてくれているが、都合が合わず参加できていない。	お忙しい保護者様にも参加していただける様な、且つご家族で参加できる形での開催を工夫していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1			丁寧に説明して下さる先生と、できないことだけを言われる先生という。	出来ない事をお伝えする時には、具体的な対応方法を示すなどしてポジティブに提案していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	3		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			13	親が参加したことがないので分からない。	マニュアルを整え、決められた訓練を行っている事を理解してもらえる様に、情報発信を工夫していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			13	親が参加したことがないので分からない。いつしているか分からない。	マニュアルを整え、決められた訓練を行っている事を理解してもらえる様に、情報発信を工夫していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			13		保護者様が安心して子どもの支援を受けられるように、知ってもらえる機会を設けていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			13		やむを得ず起こってしまった事故の対応のシミュレーションを重ねています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	1			初めてのことになどを体験できて感謝です。お友達の名前を覚えてくれたり、〇〇できたんだよと話してくれます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1			色々な遊びを通して他者とのやり取りや気持ちのコントロールが身につけてきていると思います。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日 2025/2/28				
セカンドプレイス (株) RISE		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		スペースの有効活用と工夫する事で、子ども達にも工夫することや考えることに繋がる経験になる機会となるようにしている。	万が一のことも考えて、危険予測される場所を新たに考えてみる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	常に安定した支援が提供できるように、また休み希望が重なるのを防ぐために、3ヶ月前にはちょうせい出来る様にしている。	人材育成を兼ねて人員の増大、確保を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		子ども達の様子に応じて、環境は変わることを念頭に置いて考えるように振り返りを行なっている。	子ども中心の子どもが分かりやすい構造化を、改めて考え直す必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		清潔、安全を大切に、支援終了後は掃除を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2		定期的、且つ具体的に保護者様の意見を聞けるように面談の機会を充実させていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		第三者による外部評価を取り入れる計画です。今後はその評価を参考に業務改善に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			アセスメントや客観的分析が向上し、子ども達に反映されるように努めていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		自事業所に合ったフォーマル、インフォーマルなアセスメントについて、検討していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			地域の行政や幼稚園、保育園との連携が深まってきています。今後も連携を向上させて、体制を整えていきます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			これまでは同様に連絡調整に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			これまでは同様に連絡調整に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)		5			地域の児童発達支援センター主催の研修を受講している。更に具体的に助言が受けられるような機会を設けていきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3			お忙しいご家族にも参加しやすい研修の機会を設けていきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		今の背景に合った保護者会等の形を工夫していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		感染症拡大を懸念する思いもあり、地域交流が進まない現状であったが、形を変え工夫して進めていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	なし			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		大切な子どもの安全について明確にする。また、連携が取りにくい部分は、連絡手段や時間帯の工夫を凝らしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				